



童謡 肩たたき

西條八十作詞・中山晋平作曲
大正12年(1923年)発表

母さんお肩をたたきましょう ワントン ワントン ワントントン
母さん白髪(しらが)がありますね ワントン ワントン ワントントン
お掃除には日がいっぱい ワントン ワントン ワントントン
真赤な嚙嚙(けし)が笑ってる ワントン ワントン ワントントン
母さん そんなにいい気もち ワントン ワントン ワントントン

劇団こむし・こむさ 上演記録

- 第1回公演 1968年(昭和43年)9月8日 墨田区民会館ホール
三島由紀夫作「邯鄲」 演出 野村勇
- 第2回公演 1969年8月31日 墨田区民会館ホール
榊原政常作「予告された心中」 演出 野村勇
- 第3回公演 1970年8月30日 墨田区民会館ホール
宮本研作「はだしの青春」 演出 利根川澄子



- 特別公演 1970年12月 墨田区青年館
野村勇作「天皇陛下のお引越し」 演出 野村勇
- 第4回公演 1971年7月31日・8月1日 墨田区民会館ホール
八木柗一郎作「この小児」 演出 久松健司
野村勇作「天皇陛下のお引越し」 演出 奥住光利
- 特別公演 1971年12月5日 墨田区青年館
チャーホフ作「幸福な男」 演出 野村勇
- 復活公演 2014年10月28日 日暮里d-倉庫
野村勇作「右から三つ目のベンチ」 演出 野村勇



劇団こむし・こむさのメンバーを募集しています

キャストとして、スタッフとして、協力者として、参加して下さる方を募集しています。
年齢・演劇の経験は問いません。興味・関心のある方なら、どなたでも。ぜひ、あなたのご参加をお待ちしています。一緒にお芝居を作りましょう！お問い合わせは、右の劇団の連絡先まで。

劇団の連絡先

☎090-6043-8303 (久松)
hisamatu@s9.dion.ne.jp

劇団のホームページ 劇団こむし・こむさの部屋
<http://www.ichikiyo.com/komushi.htm>
劇団代表・野村勇のブログ こむし・こむさの日々
<http://komushikomusa.jugem.jp/>

劇団こむし・こむさ 復活第2回公演

作・演出 野村勇
たった二軒の回覧板

2015年11月10日(火)
14:00 19:00
日暮里 d-倉庫

スタッフ

音響	市来	邦比古
音響操作	矢野	夏帆
照明	安達	直美
照明協力	金原	知輝
プロジェクター	陶山	嘉代
装置	野村	勇
表方	宮崎	富美江
協力	山本	修
	鈴木	純子
	林	ひろ

キャスト

しめぎ くに お	標 国土	久松	健司
しめぎ	標 トキ	今野	好江
やまがた	山縣	市川	清文
菅井		莊司	あや子
伊東		笈川	健太 (サンミュージック)
しめぎみさお	標 操・隣人	青木	一代(2役)
しめぎ	標 信夫	野村	勇

作・演出より 野村 勇

本日は劇団復活第2回公演にお越しくださいまして、誠にありがとうございます。

昨年は43年ぶりの公演ということで、「ご祝儀」として私どもの芝居をご覧くださいの方々も多かったのではないかと思います。ご祝儀は一度だけ。今年の公演こそ、真価を問われる。そう肝に銘じ、稽古を重ねて参りました。

私ども劇団の共通認識として、「オリジナル作品を創造していく」ということがあり、昨年に引き続いて、今年も自前の戯曲を上演いたします。

楽しく笑えるお芝居を、というご要望もありますが、現在のところは、自分のからだから絞り出すようにして戯曲を書く手法しかとれずにいます。そこに、お芝居の面白味を加味できたらと願っているのですが、難しさに目がくらみます。

「たった二軒の回覧板」という戯曲の種子は、そこはかとなく忍び寄る不安のようなものです。年を重ねるにつれて身近に感じられてくる不安について、深く考えずに生きられたら幸せなのかもしれません。しかし、かたちのない不安が現実のものとして姿を現わす「とき」が来るとしたら。そんなとき、人はどのように受け止めて生きていったらよいのでしょうか。

とは言っても、小説の読み方が自由であるように、お芝居の見方もお客様お一人お一人のご自由です。いろいろな見方が出来るお芝居であれば、それは素晴らしいことだと思っております。

出演者より

久松健司（標 国士）

定年後、順番により町内会の役員になった事をきっかけに、少し地域活動をやる事になり、また義母の世話もあって、この劇の多様な問題が身近に。自分の演技の問題にも直面を。

今野好江（標 トキ／国士の母）

復活第1回公演はいきおいで何とか。2回目はそうはいかない……。でもやるっきゃない。戦争を経験して生き抜いた父、母、トキさんの思いが舞台から皆様に届く事を願っています。

市川清文（山縣／マンションの同じ階の住人）

昨年の悪役から、ようやく自分らしい?役へ。世の中が激動していますが、人々のつましい世界も、大切にしたいです。この人々の切々とした世界を見つめることから、社会の大きなうねりも生まれて行くのだと思いつつ……。

荘司あや子（菅井／マンションの管理組合の理事長）

去年に引き続き出演しています。なかなかセリフが頭に入らず、苦戦しています。珍しく弱音を吐いています。

笈川健太（伊東／巡查）客演

残酷な現実と闘い、必死に生き、母を愛する姿に、家族との何気ない瞬間を想うキッカケになる様な作品に、そして、その一部になれたらと思います。

青木一代（標 操／国士の妻と

木賃アパートの隣人 2役）

目立ちたがりの恥ずかしがり屋。観る側から演じる側をしてみたいという思いが、ようやく叶いました。この物語も、登場人物それぞれの「思い」が詰まっています。

照明家より 安達 直美

19歳のときに舞台照明という仕事を知り、縁あって続けているうちに、抜けられなくなって、はや〇〇年。今回も、ご縁あっての「劇団こむし・こむさ」さんとの作品作り、本番が楽しみです。

音響家(市来 邦比古)の紹介

1970年代、小劇場演劇の黎明期にフリーの音響家として様々な劇団・演出家と共同作業を行い、1976年、劇団第七病棟創立に参加。1969年から現在まで、プランナーとしてクレジットされた作品は500作品以上。世田谷パブリックシアターをはじめとして、北九州芸術劇場、まつもと市民芸術館など多くの音響設備設計に関わってきた。尚美学園大学などの非常勤講師もつとめる。ごく最近の作品としては、まつもと市民芸術館制作 ルーマニア・シビウ国際演劇祭招待作品 串田和美構成演出「スカパン」（松本での凱旋公演も含む）、同じく、まつもと市民芸術館制作 串田和美構成演出「空中キャバレー2015」などがある。

客演者(笈川 健太)の紹介

1991年生まれ、24歳。サンミュージックアカデミー所属。2013年より演劇活動をスタート、すでに9作品に出演し、さまざまな役柄を演じ分けている期待の俳優。最近の出演作として、ACRAFT製作「紅蓮、ふたたび」、劇団空感エンジン「下町戦隊ポッターズ」「KIRA」「LOVE&CHICK」「Juliet」などがある。

各場の時代と場面

	西暦	元号	場 面	国士の年齢	トキの年齢		
第1場	1960	昭和35年	昔、トキと国士が暮らした木賃アパート	11歳			
第2場	2004	平成16年春分の日	午後 トキと国士が暮らすマンションの一室	55歳	78歳		
第3場	〃	〃	数日後の夜	〃	〃		
第4場	2005	平成17年	1年後、春分の日	午後	〃	56歳	79歳
第5場	2014	平成26年	9年後、春分の日	午後	国士が暮らす木賃アパート	65歳	
第6場	〃	〃	数か月後の夜	〃	〃		
第7場	1960	昭和35年	昔、トキと国士が暮らした木賃アパート				34歳
第8場	2014	平成26年	エピローグ				

語句についての簡略な説明

え こういん

回向院

明暦3年（1657年）「振袖火事」と言われる大火があり、10万人以上の人命が失われた。江戸幕府が両国に「万人塚」という墳墓を設けたのが、回向院の始まり。正式の名称を、「諸宗山無縁寺回向院」といい、一宗一派にとらわれずに無縁供養を行う寺という意味が込められている。境内には「安政大地震」や「関東大震災」など、数々の供養塔が建つ。

水子塚は老中松平定信の発願によって、寛政5年（1793年）に建てられた。

山下公園

横浜市中区にある公園。昭和5年（1930年）関東大震災の復興事業として開園。1945年、アメリカ軍に接収され、将校用の住宅が建設された。1959年に接収が全面解除された。

扶助料

旧軍人軍属が死亡した場合、その遺族に支給される恩給法上の年金。

第一造兵廠

東京第一陸軍造兵廠。明治38年（1905年）小石川にあった銃砲製造所が、北区十条に移転開設された。先の大戦中は、銃弾・無線機・火具な

どの兵器を生産、約2万5千人が働いていたといわれる。戦後、米軍に接収されたが、現在、本部の建物は北区立中央図書館としてよみがえっている。

し ちょうへい

輜重兵

糧食・被服・武器・弾薬などの軍需品の輸送・補給にあたる兵。自動車兵や衛生兵も輜重兵の一部とされた。劇中、国士の父親は野戦自動車隊に所属していた。

し きんこつ こ さいけん

賜金国庫債券

「賜金」とは「天皇または政府から下付される金」（広辞苑）劇中、国士の父親は、支那事変での働きを評価されて140円の国庫債券（いわゆる国債）を賞勲局総裁からもらっている。昭和21年（1946年）に無効となったが、債券は骨董品の一つとして、今もネットで売買されている。

勲八等瑞宝章

「国家又は公共に対し積年の功労ある者」に授与すると定められた勲章。勲一等から勲八等まで8等級あった。劇中の、国士の父親は勲八等を受けた。平成15年（2003年）の閣議決定で、勲七等と勲八等は廃止された。